

沈下量計算などを行ってもらっております、地盤評価ソフトについて、少し改定をいたしました。従来と同様の計算がそのままできるのと同時に、各測点に高低差を付けた状態で、傾斜ラインを引き、沈下量計算を行うことができるようになりました。

※建築主事の方から、沈下量計算についての疑義を受け、急遽変更いたしました。

## 1. 追加機能

- ・従来の計算機能はそのまま残す
- ・高低差を考慮した計算に対応
- ・深基礎など、部分的に深度の異なる基礎の場合も対応
- ・大きな画面での作業

## 2. インターフェース

The screenshot shows a software interface for settlement calculation. It features a blue background with white text and input fields. The interface is organized into sections, with numbered callouts (1-6) highlighting specific areas:

- ① 地盤高設定**: A section at the top left containing two radio buttons: "現地盤より計算" (Calculate from actual ground level) and "設計GLより計算" (Calculate from design GL level).
- ② データ基準高さ**: A dropdown menu currently set to "KBM".
- ③ 設計GL設定**: A section containing a "基準高" (Base height) input field with a unit of "mm".
- ④ 地盤高 (計測値)**: A row of five input fields labeled "No.1", "No.2", "No.3", "No.4", and "No.5", each with a unit of "mm".
- ⑤ 根切り深度 (mm)**: A row of five input fields corresponding to the five measurement points.
- ⑥ 補正係数**: A row of five input fields corresponding to the five measurement points.

① 従来計算と新しい計算との選択

② データ基準高さの選別

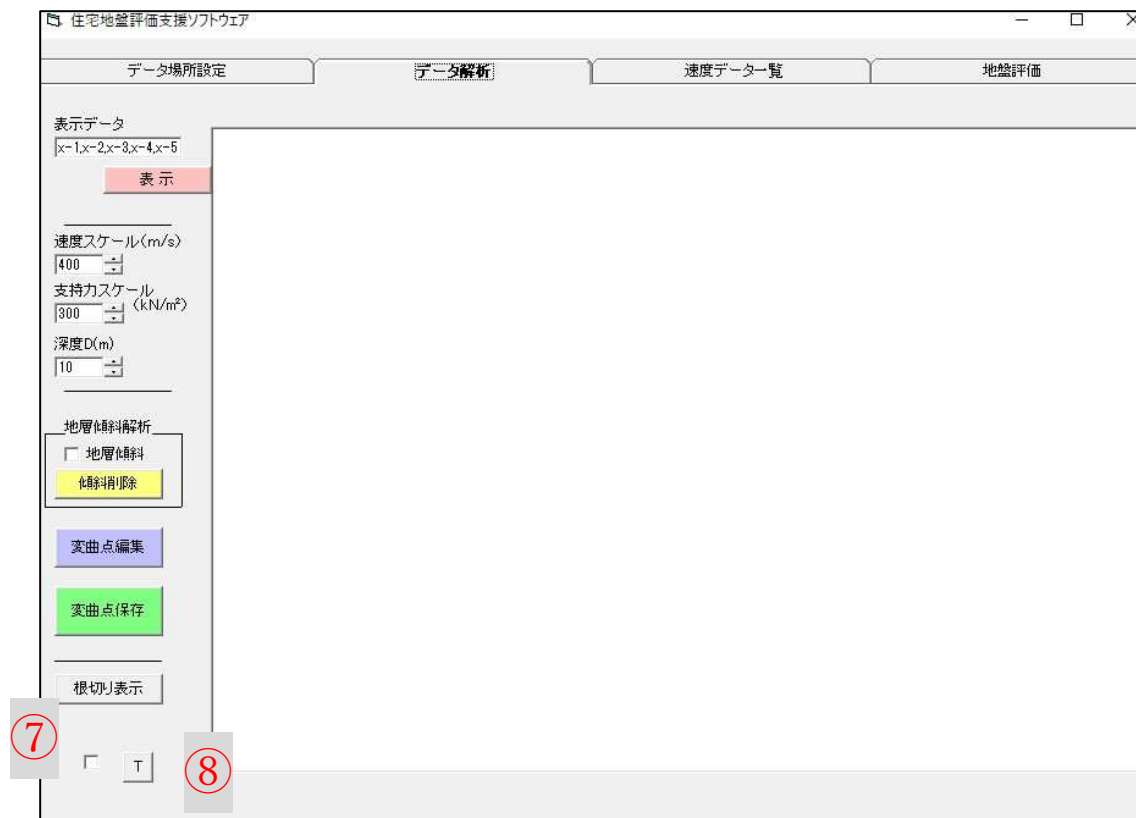
③ データ基準と設計 GL の設定

(例 設計 GL が KBM+200 であれば②KBM、③200 とする)

④ 現場メモから高低差を読み込む (ボタンクリックで現場メモ選択)

⑤ ④の読み込み終了同時に、計測ソフトで入力した根切深度が入力される、必要があれば該当箇所の根入れ深度を変更する

⑥ 計算上、使用しないのですが、クリックしてください



⑦チェックを入れてから表示ボタンをクリックすると、画面が大きくなります

⑧使わないボタンです

